

3学期スタート

【3学期始業式 校長先生の話より】

あけまして おめでとうございます。

令和3年がスタートしました。皆さんはどんな目標を立ててスタートしたでしょうか。

今年のお正月は、新型コロナの第3波が吹き荒れる中ではありましたが、例年のようにいろいろなスポーツの大会が行われました。もちろん全て感染対策をとってのことです。その様相は例年とは異なっていました。そんな中で、今日皆さんにお話ししたいのは第97回箱根駅伝のことです。

誰もが創価大学の初優勝を疑わなかった第10区。その差は2位の駒沢大学とは3分19秒。しかしドラマはここから始まりました。駒沢大学の最終ランナー石川拓慎選手は絶望的な差であったにもかかわらず、決して諦めず前を行く創価大学小野寺勇樹選手を追います。するとその差は徐々につまり、遂に残り2kmで先頭を捉え、一気に抜き去り、劇的な逆転優勝を果たしました。最後まで諦めないことの大切さを彼の走る姿からテレビの前で応援していた全ての人が感じたに違いありません。まさに天晴の走りに感動を覚えました。



しかし、私が、皆さんにお話ししたいのはこのことだけではありません。あと2つのことをお話ししたいと思います。その一つが、区間賞をとった選手がインタビューの際、まず口にした言葉です。それは、大会関係者への感謝の言葉でした。「こういう状況の中でも大会を開催していただいた全ての関係する皆さんに感謝します。」という言葉です。きっと区間賞をとれなかった選手も全ての選手がこの気持ちを持って大会に臨んでいたのだと思います。大会を支える関係者の皆さんの力によって走らせてもらっているという謙虚な気持ちが、インタビューの場面から伝わってきました。その姿はとても清々しく、頼もしささえ感じさせられました。

そして、もう一つはチームのすばらしさです。今回走り終わった選手は、感染対策のために大学の寮に戻り、そこでテレビ放送を観ながら応援する形となりました。先頭を走る創価大学の寮とそれを追い上げる駒沢大学の寮にテレビ中継が入りました。創価大学の寮では、駒沢大学の石川選手がぐんぐん追い上げる様子に、神にもすがるような悲痛な表情で小野寺君を見守っていました。一方駒沢大学の寮では、みんな満面の笑顔で行け行けどんどん!大盛り上がりです。そして先ほども話したように、駒沢が逆転優勝。駒沢大学の寮にいる仲間たちは全員が立ち上がって歓喜の雄たけびを上げたのでした。それに遅れること52秒後、創価大学小野寺選手が悲痛な表情でゴール。きっと寮で見ていた仲間はうなだれてしまっているだろうと私は想像しました。間もなく画面は創価大学の寮の様子に切り替わりました。そこに映し出された映像は、私の想像したものとは全然違うものでした。テレビで仲間の走りを見守っていたチームメイトには、一人として肩を落とし、がっかりする仲間はいません。全員が笑顔で拍手をして、小野寺選手のゴールを称えていたのでした。私はそのシーンに胸が熱くなるのを覚えました。このチームだからこそ、優勝は逃したものの初出場から4回目の箱根で2位に入ることができたんだと改めて実感しました。

後日、小野寺選手が自身のツイッターに「ごめんなさい。全部受け止めて来年強くなって戻ってきます。」と謝罪のコメントを載せました。優勝を目前に、抜き去られた悔しさははかりしれないものだったはず。この投稿

に対し、16万以上の「いいね」がつき激励のメッセージが相次いだとのことでした。「お疲れ様でした。つらくても前を向いて走り切る姿、本当にかっこよかったです。感動をありがとう。」コロナで誹謗中傷の書き込みが問題になる中、こんな素敵な書き込みで心がホッカリと温かくなりました。

最後まで諦めないこと、感謝の気持ちをもつこと、そして仲間を思う気持ち、相手の立場にたって考えることができる心。3学期、本年度のまとめをそれぞれの立場で、場面でしていきましょう。

2学期終業式・3学期始業式の生徒発表より

「2学期を振り返って」 1年1組 石澤朋奈さん

2学期を振り返って、私は印象に残っていることが2つあります。

1つ目は阿南宿泊学習です。中学校に入って初めての宿泊学習で、不安もありましたが、今となっては最高な思い出です。私が特に楽しかったことはウォークラリーです。私はウォークラリーをするのが初めてでした。ウォークラリーでは班のみんなと協力して、途中にある問題を解いたり、先生からの課題に挑戦したりしました。問題を解いたりするのも楽しかったですが、展望台から見た景色が一番です。展望台まで歩いていくのはとても疲れましたが、とてもきれいな景色を見て、ビックリしたのを覚えています。頑張ったのぼって来て良かったなと思いました。他にもキャンプファイヤーや2日目、どれも楽しかったです。この2日間を通して、仲間と協力する事、自分で考えて行動する事が前よりもできるようになりました。



2つ目は松風祭です。これも中学校に入って初めての松風祭でした。クラスで歌う合唱では、みんなまで歌うのは緊張しましたが、今まで練習してきた事を思い出して、一生懸命歌う事ができました。また、クラスチャレンジやステージ発表など、楽しい事が他にもたくさんありました。コロナ禍で色々な事を工夫・配慮して松風祭を作ってくれた3年生には感謝しかありません。私も3年生のように、どんな状況であっても、みんなの事を考えて、全力で物事に取り組めるようになりたいです。

2学期には、楽しい行事がたくさんありました。その一つ一つの行事の中で、私は少しずつではありますが、成長していると感じています。しかし、3学期にも、さらに人として大きく成長できるように頑張っていきたいと思っています。

「2学期の振り返り」 2年1組 大澤妃美子さん

私は、2学期頑張ったことと悔いを残してしまったことがあります。

頑張ったことは級長の仕事です。級長としてクラスの課題点や良い所を考え、クラスでプロジェクトを行うための準備をしたり、呼びかけをしたりすることができました。

悔いを残してしまったことは勉強です。勉強をコツコツと進めることができず、テスト前に追い上げる形で勉強をしてしまったため、目標点数に届くことができませんでした。3学期は、3年生になる前の最後の学期なので、1年生からの復習もコツコツと進めながら、テスト勉強も余裕を持って進め、3年生になる準備とテストの点数アップに力を入れていきたいです。そして、悔いを残してしまったことがもう1つあります。部活です。新人戦では思っていた結果にならず悔しい思いをしたので、この思いを活力に変え、この冬、自分の目標に向かって全力で努力していきたいです。



3学期の最後に自分が「頑張った。」と思えるような学期にできるように「日々全力」で努力していきたいです。最後に、選挙では皆さんの1票のおかげで生徒会長になることができました。その1票に応えるように頑張っていきます。よろしくお願いします。

「2学期を振り返り、次に向けて」 3年1組 松下由奈さん

2学期には、いろいろな行事があり、楽しかった反面、テストが何回もあつたりと、忙しくて大変な学期でもありました。その中でも特に印象に残っていることがあります。

まずは松風祭です。今年は新型コロナウイルスの影響で、今までの内容ではできないことがあり、家族も見に来られる人は限られていました。しかし、生徒会役員の人達、先生方が工夫して下さい、例年とは異なる内容で、すごく盛り上がり、記憶に残る、楽しい松風祭でした。

次はテストです。3年生になってから、テストが1ヶ月に1回あり、問題もどんどん難しくなって、点数も少しずつ低くなっていきました。2学期のテストでは初めて自分の目標点数に届かなかつたり、勉強面では苦しんだ学期でした。しかし、その理由としては、自分が「次のテストは頑張らなきゃ…、次のテストは…」と思いつつも、テスト勉強があまりできなかった、自分を甘やかしていた、その結果がテストの点数につながったのだと思います。特に、2学期期末テストの英語では、難しかったことに加えて、自分の勉強が不十分だったので、今までで一番低い点数をとってしまいました。なので、残り少ない入試までの期間は、悔いの残らないよう、しっかり勉強をして、良い結果になるように頑張っていきたいです。

中学校生活も残りわずかです。この学期を通して反省したことを生かし、勉強を頑張っていきつつ、最後に「楽しかった。」と思えるように、これからもたくさん思い出を作っていきたいです。

3学期、中学校生活最後の学期を楽しんで送っていきたいです。



「今年頑張りたいこと」 1年2組 小池琉生さん

僕は今年頑張りたいことが2つあります。

一つ目は部活動です。来年度2年生になり、先輩という立場になります。僕は1年生のときに、先輩に優しくいろいろと教えてもらいました。なので、後輩にも優しく教えてあげたいです。また、技術面や生活面でも、後輩達のお手本となれるようにしたいです。

2つ目は勉強です。2年生では、今よりも難しくなると思います。家では学校で勉強したことを復習して、わからないことは積極的に質問をして、理解を深めていきたいです。

この2つの目標を達成できるように、日々努力をしていきたいです。



「頼られる先輩になるために」 2年2組 澁坂悠斗さん

みなさん、この学習には学習の五原則があることを知っていますか？また、学習の五原則を守ることができていますか？私は、今までの学校生活を振り返ると、この「学習の五原則」を意識して生活することができていなかったと思います。頼られる先輩になるために、この3学期は、学習の五原則を守ることが意識して生活していこうと思います。

特に1つ目の「挨拶・返事は大きな声で」と、2つ目の「チャイム前に準備・着席」の2つを徹底して行っています。

1つ目の「挨拶と返事」についてです。私は、野球部で部長をしています。野球部では、挨拶と返事を大切にしています。挨拶をすることで、挨拶をした方もされた方も気持ちよくなるからです。しかし、私が常に元気よく挨拶や返事ができていたかというと、正直できていなかったと思います。どんなときも元気な挨拶を心がけていき、先輩として後輩の手本になりたいです。

学習の五原則	
1	挨拶、返事は大きな声で
2	チャイム前に準備・着席
3	忘れ物をしない
4	腰骨を立てて聞く
5	自己開示と傾聴

次に「チャイム前準備・着席」についてです。今までの生活を振り返ると、授業への取り組みがあまり良くなかったと思います。1つの原因として、授業前の準備に問題があると考えました。2年2組は2分前着席が当たり前のようにできるクラスです。これはみんなで声かけを行っているからです。しかし、私自身は2分前着席はできて授業の準備が完璧にできていないことが多々ありました。私はこの3学期に「準備する」ということを意識していきます。1回1回の授業を大切にしていき、確かな学力をつけていきたいです。2年2組の皆さん、一緒に頑張っていきましょう。

3年生になると、受験勉強が本格的になります。2年生の3学期は3年生の0学期と呼ばれるように、とても大切な時期です。今までの生活も見直し、よりよい先輩になれるように努力していきます。

最後に「学習の五原則」を意識して、よりよい3学期にしていきたいと思います。全校の皆さんも一緒に頑張っていきましょう。

「3年生のみんな笑顔で卒業するために」 3年2組 庄子颯人さん

3年生は、それぞれの進路に向かい、もうすぐ受験をむかえます。

自分は、これまで頑張ってきたサッカーを、さらに高校で伸ばすことができるようにしたいと考え、そのための進路希望実現を目指しています。高校でサッカーを精一杯頑張るためには、もちろん学習との両立が必要です。そのため、僕の場合は特に授業態度を改善し、集中した取り組みができるように自覚していかなければいけないと思っています。

クラスも学年も、受験に向かう雰囲気を作られてきました。朝、個人で勉強している人が多くなってきました。また、昼休みにみんなで問題を出し合ったりしています。自分もそういう雰囲気の中で、一緒に気持ちをつくり、最後の最後まで、力を合わせて頑張る雰囲気を作れるようにしたいです。

この学年は、コロナによって制限され、なかなか思うようにいかないことも多くありました。でも、松風祭での一体感やスポーツフェスティバルで感じたクラスの団結力、日常生活の中にあふれている笑顔など、すばらしいものをたくさん積み重ねてきました。いい仲間だなと思います。

残された47日の3学期、学年の良さをもっともっと発揮することも大事にしながら、学年全体で力を合わせて受験に向けて高めていきたいです。

3年生の皆さん、一緒に頑張っていきましょう。



保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全県に「医療非常事態宣言」、南信州圏域に「新型コロナウイルス特別警報Ⅰ」が発出されています。学校では、マスク、手洗い、換気など、できる限りの感染予防をし、かつ、その他の疾病にもかからないように室内の気温や湿度にも注意を払っております。ご家庭でも、引き続き感染予防対策をお願いします。以下が県からの要請の抜粋になります。

<基本的なお願い>

- 人との接触機会を極力減らす 基礎疾患のある人は、不要不急の外出を控える
- 3密(密閉、密集、密接)の環境を回避する
- マスク着用、手洗い・手指の消毒を徹底する
- 体調が悪い方は外出をしない

<避けるべき場面に関するお願い>

- 会食・茶飲み話等について…大人数、長時間など感染リスクが高い会食は控える
- 往來の自衛について…感染拡大地域への訪問は極力控える

<その他のお願い>

- 陽性者、医療従事者等への人権の配慮について…注意をしても誰もが感染する可能性がある。不当な差別や偏見、いじめ等がないように冷静な行動をする

